

(表1) 過去5年間の救急搬送の状況

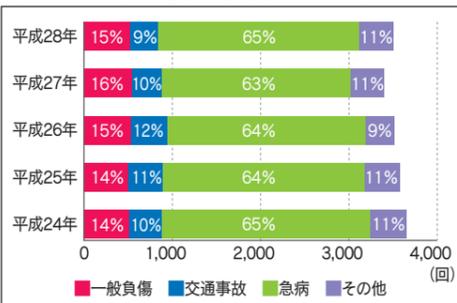
出典：舞鶴市消防本部資料

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平均
出動回数(回)	3,660	3,586	3,497	3,399	3,513	3,531
搬送人員(人)	(3,479)	(3,405)	(3,346)	(3,243)	(3,338)	(3,362)
傷						
交通事故	358: 10%	369: 11%	388: 12%	329: 10%	310: 9%	351: 10%
一般負傷	504: 14%	481: 14%	499: 15%	516: 16%	492: 15%	498: 15%
病						
急病	2,268: 65%	2,195: 64%	2,131: 64%	2,037: 63%	2,166: 65%	2,159: 64%
その他	349: 11%	360: 11%	328: 9%	361: 11%	370: 11%	354: 11%
程						
死亡	78: 2%	75: 2%	72: 2%	66: 2%	76: 2%	73: 2%
重症	727: 21%	644: 19%	454: 14%	457: 14%	447: 13%	546: 16%
中等症	854: 25%	1,029: 30%	1,138: 34%	1,237: 38%	1,094: 33%	1,070: 32%
軽症	1,820: 52%	1,653: 49%	1,681: 50%	1,480: 46%	1,718: 51%	1,670: 50%
その他	0: 0%	4: 0%	1: 0%	3: 0%	3: 0%	2: 0%

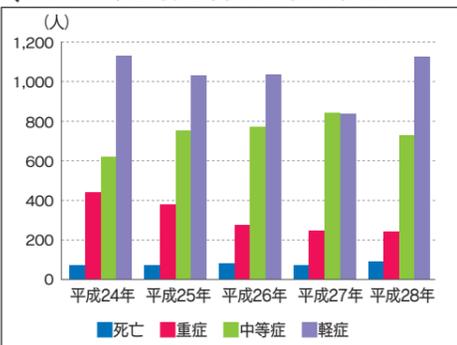
この5年間の救急車の出動回数の平均は、年3,531回、月約294回、1日にすると約9.7回です。最も救急車が利用されているのは急病で全体の64%を占めています。また、搬送される人の50%が軽症であったことがわかります。



(グラフ1) 救急搬送を要した原因



(グラフ2) 急病患者の症状の程度



※グラフ1の急病を原因とする搬送の詳細を表わしています。平均で約2,300人の搬送のうち半数近い1,030人が軽症です。

救命救急を考える

命を脅かす病気や事故。それは、いつ、どこで自分や大切な人に起こるかわかりません。突然「その時」が訪れた場合に、その命を救うために多くの人が関わり、一人でも多くの命を救うための医療体制。しかし、全国的に医師が不足し、救命救急医療体制が厳しい状況にある中、本市の受診患者の大半は軽症であることも事実です。医療を地域で維持し、本当に必要な人に速やかに対応できるものとするためには、住民の皆さんの協力が不可欠です。そこで、今回は、市民の皆さんに自分自身のこととして考えていただくため、救命救急について特集します。

舞鶴市の救命救急体制の現状とそれを支える現場についてお伝えします



救命と聞くと、まず思い浮かべるのは「救急車による搬送」ですが、その半数が軽症です。また、本来二次救急病状の重い患者への対応を担うべき、休日の救急当番病院の患者で入院や転院が必要なケースは8割にも満たないのが現実です。(表1:表2)。

公的3病院(舞鶴医療センター・舞鶴共済病院・舞鶴赤十字病院)は、市民の皆さんの安全・安心の生活を守るため、休日の救急医療を輪番で担い、内科・外科・小児科の医師をはじめ看護師や技師などのスタッフが24時間体制で、1分1秒を争う救急患者の受け入れのために万全の体制を敷いています。また、休日だけでなく、平日の夜間や土曜日にも緊急時に備えています。医師においては、夜間の救急対応の後、そのまま朝から外来や手術の通常勤務に就いている場合もあります。

休日に体調を崩したり、子どもの様子がおかしいことなどは誰にでも日常的に起こり得ることでありますが、安易に自分の都合で救急医療を利用していないか省みることも必要ではないでしょうか。軽症者への対応に迫られることで、医療スタッフの負担が増し、本来に救急医療が必要な人に万全の体制で挑むことができなくなることは避けなければなりません。救急医療とはどういうものなのか、誤って理解していないかをこの機会に知ってほしいと思います。

舞鶴市の救命救急医療体制を維持するために

(表2) 平成28年度 休日救急医療実施状況(公的3病院) 日曜・祝日

出典：舞鶴市地域医療課資料

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間	1日平均 (H27年度)	割合
日数	5	8	4	6	5	6	6	6	8	8	5	5	72	79.0	(82.9)
患者数	354	688	239	462	359	411	427	383	786	770	441	370	5,690	25.5	(24)
科目別															
内科	103	219	70	103	111	117	137	105	286	327	155	106	1,839	25.5	(24)
小児科	143	279	75	181	128	150	129	114	295	243	202	146	2,085	29.0	(31)
外科	61	118	64	130	77	107	110	109	85	137	49	82	1,129	15.7	(17)
その他	47	72	30	48	43	37	51	55	120	63	35	36	637	8.8	(11)
事故別															
交通事故	7	4	1	2	3	7	6	34	10	2	5	2	83	1.2	(1)
急病	275	565	168	337	279	317	322	272	669	644	385	295	4,528	62.8	(65)
一般負傷	57	105	57	106	67	79	79	67	83	95	41	64	900	12.5	(14)
その他	15	14	13	17	10	8	20	10	24	29	10	9	179	2.5	(3)
救急車による搬入	29	52	33	38	33	40	53	32	64	52	42	33	501	7.0	(6.1)
他院への転送	2	2	0	1	1	3	2	3	1	3	2	3	23	0.3	(0.2)
自院へ入院したもの	20	49	22	34	27	30	33	23	51	48	28	29	394	5.5	(6.2)
計	22	51	22	35	28	33	35	26	52	51	30	32	417	5.8	(6.4)

公的3病院の日曜・祝日の救急医療の現状です。1日平均79人が受診し、うち救急車による搬送は約9%と少なく、ほとんどがウォークインと呼ばれる自来院する患者が占めています。また、入院などを必要とした患者は、全体(5,690人)の約7% (417人)であったことがわかります。